

1 木部も人工木もどちらも塗れる!!

密着性が良好で木部にも人工木にもしっかり密着します!今まで不可能だった人工木への塗装が可能になりました!! ※必ず、塗装前に人工木のチェックを行ってください。

2 安心安全の水性塗料!!

水性塗料のため引火性も、シンナー臭も無く、使用された器具も水洗いが可能です。水道水で希釈ができるのでうすめ液を用意する必要はありません。

3 速乾性で液垂れしにくい!!

乾燥時間が短いので液垂れしにくく作業性が抜群です。

4 高発色で鮮やかな仕上がり!!

発色性が高く特別な技術がなくとも綺麗な仕上がりで塗装をお楽しみ頂けます。

5 食品衛生法に適合した水性塗料!!

食品衛生法に適合しているため、赤ちゃんのいるお部屋の家具や、ドッグハウス等でも安心してご使用いただけます。

こんな場所やシーンでご利用頂けます。



こんなところにも塗装可能です。



■ 注意事項 ■

●人工木の素材や劣化の度合いによっては、塗料の密着不良や乾燥後にはがれる場合があります。清掃した塗装前の人工木数ヶ所にセロテープを貼り、はがして表面のはがれを必ずご確認ください。※詳しくは本塗装手順書の表紙をご参照ください。●人工木の表面がはがれる場合は、別売りの「ALLWOOD経年劣化した人工木にも塗装ができるプライマー」を下地に使用することで塗装が可能です。●また、木粉・樹脂の配合率によっても塗料が密着しにくい場合があります。あらかじめ目立たないところで、必ず試し塗りを行い、密着しにくい場合はプライマーをご使用ください。●通常の塗装手順で人工木に塗装する場合は、40番程度の布ヤスリ(サンドペーパー)で木目に沿ってしっかりと目粗しし塗装します。乾燥後に再度240番程度のサンドペーパーで表面を整え、2度塗りを行ってください。※詳しくは本塗装手順書をご参照ください。●以下のような場合は、乾燥後も塗装がはがれる可能性があります。充分にご注意ください。・塗装面に油分が残っている・塗装面に水分が残っている・塗装が乾燥する前に水分が付着・塗装が剥がれた場合は再度塗装面を目粗し、上記に十分注意の上再度塗装してください。

●気温5℃以下、雨天、湿度の高い(85%以上)時、及び風が強い日には塗装しないでください。●結露する季節は早め(午後3時頃)に塗り終えてください。●ワックス等油分のついてる塗装面は、充分に脱脂、洗浄を行ってください。●顔料が缶の底に沈殿していることがありますので、使用前によく缶を振り、攪拌棒などでかき混ぜながら使用してください。●あらかじめ目立たないところで試し塗りをし、色や仕上がり感を確認してください。●針葉樹(マツ、スギなど)は吸い込みムラのでやすい木材の為、着色ムラ、および塗り継ぎムラがでやすくなります。必ず試し塗りで確認してください。●防腐剤、防汚剤は入っておりません。●手を触れたり、歩いたりする平面部位(ベンチ、ベランダ、バルコニー等)は摩擦による色落ちが早くなる場合があります。その場合は塗り重ねをこまめに行ってください。●一度の塗装で厚すぎたり薄すぎないようにしてください。●充分に乾燥していない木部には塗らないでください。湿度が高い場合、低温の場合、塗布量が多すぎる場合、下塗りが未乾燥のうちに重ね塗りした場合、乾燥遅延を起こすことがありますので、ご注意ください。●乾燥時間の表示は、気象条件、木材の種類、状態、塗り方、色等によって多少異なります。●塗装後一週間位は引つ掻きや強い摩擦にお気を付けてください。●間違えて塗装した場合は本品が乾かないうちに布等で拭きとってください。●汚れても差支えない服装で作業してください。手袋や保護眼鏡等を着用し、出来るだけ皮膚に付着しないようにしてください。●皮膚に付着した場合は、すぐに水と石けんで洗い流してください。●使用後の余った塗料は容器に戻さないでください。●塗料本来の目的以外には使用しないでください。

【ALLWOOD・専用プライマーに関するお問い合わせは、お気軽にフリーダイヤルまで】

0120-012-280

【開発・製造】
特殊塗料開発製造メーカー
BAN-ZI 株式会社

〒262-0011
千葉県千葉市花見川区三角町 118
URL: <http://www.ban-zi.jp/>



ALW-210405

必ず内容をよくお読みになって、ご使用ください。



木部・人工木どちらにも塗れる

水性
ALLWOOD
スゴ技 業界初 話題騒然
【特許出願中】

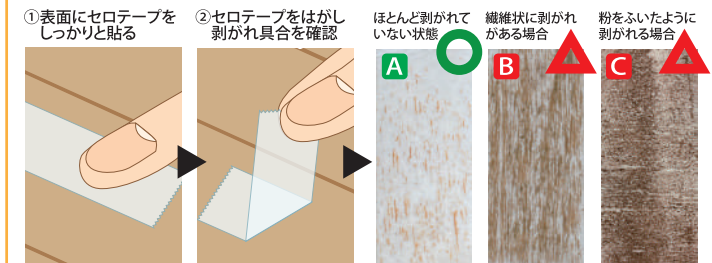
人工木デッキ塗装手順書

～安心して人工木の塗装を行っていただくために～

▲ まずは塗装いただく前の人工木のチェック ▲

現在、人工木の市場は年々増加し、国内はもちろん海外製の人工木が多く発売されています。そのような人工木市場の中、ALLWOODは常にテストや検証を行っていますが、**長期使用の劣化により人工木表面が脆くなり、下記画像①②のように表面がはがれる場合は、通常の塗装手順では塗料の密着不良や塗装後にはがれる場合があります。ご注意ください。上、塗装前に必ずお手持ちの人工木表面をご確認ください。**

【塗装前のチェック方法】表面をきれいに清掃した塗装前の人工木の表面数ヶ所にセロテープをしっかりと貼り、セロテープをはがして人工木自体のはがれがないかを確認。



新品や④のようにはがれない場合…塗装手順/注意事項に従い塗装してください。
劣化などで①②のようにはがれがある場合…別売りの「ALLWOOD経年劣化した人工木にも塗装ができるプライマー」を下塗りにご使用ください。

【ALLWOOD・専用プライマーに関するお問い合わせは、お気軽に株式会社BAN-ZIフリーダイヤルまで】

株式会社 **BAN-ZI** **0120-012-280**

塗装前チェックではがれのある場合はコレ!

NEW 新発売 「ALLWOOD 経年劣化した人工木にも塗装ができるプライマー」!!

長期使用の劣化により人工木が脆くなり表面の剥がれ等がある場合、塗装前の下地にご使用いただくことで、剥がれることなくALLWOODの塗装が可能となります。

規格:【スプレー】300ml 【塗料缶】0.5kgセット(主剤424g・硬化剤76g)

乾燥時間	約3時間(23℃) ※乾燥時間は天候によって変わります。
塗り面積	スプレー(300ml)の場合:約0.95~1.42㎡/回 塗料缶(0.5kgセット)の場合:約5㎡/回 ※塗り方などにより差が生じます

2液性

■ご使用方法(劣化が著しい場合は目粗しは不要です)

- ①塗装面を清掃
- ②プライマーを塗布
- ③ALLWOODを塗装



【色目】

クリア イエロー

- ①塗装前チェックで剥がれが確認された人工木の表面(塗装面)をしっかりと清掃してください。
※清掃に水(水分)を使用した場合は、清掃後、人工木を完全に乾燥させてください。
- ②塗装面に「経年劣化した人工木にも塗装ができるプライマー」を均一に塗布してください。
- ③プライマー乾燥後、一度目のALLWOODを塗布し乾燥したら、#240程度の紙ヤスリで木目に沿って軽くかけ、ザラついた塗装面を整えます。その後、2度塗りで仕上げを完了です。
※塗装に関しては本紙の注意事項をよくお読みになり、ご使用ください。

【ALLWOOD 乾燥時間】

温度	乾燥時間	
	指触	塗装間隔
5℃	約30分	約3時間
23℃	約20分	約1.5時間
30℃	約10分	約1時間

※乾燥時間は天候(送風・湿度など)によって変動致します。

【ALLWOOD 塗り面積】

容量	塗り面積	
	1回塗り	2回塗り
0.7L	7.7㎡	3.85㎡
1.6L	17.6㎡	8.8㎡
3.0L	33.0㎡	16.5㎡
16kg	160㎡	80.0㎡

※ローラー、刷毛等で塗装した場合の目安になります。

【全12色】基本色のほかに「一般社団法人日本塗料工業会塗料用標準色」の色票番号に基づく調色対応が可能です。



※近似色での表現になりますので実際の塗料の色とは異なります。

ALLWOODによる人工木デッキ塗装手順

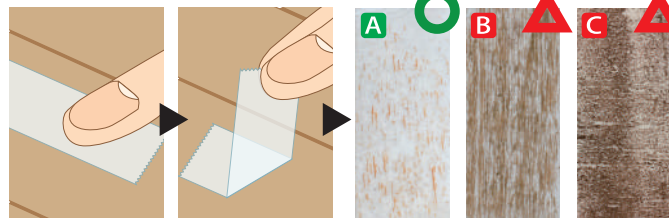
※必ずよくお読みの上ご使用ください

～安心して人工木の塗装を行っていただくために～

▲まずは塗装いただく前の人工木のチェック▲

【塗装前のチェック方法】表面をきれいに清掃した塗装前の人工木の表面数ヶ所にセロテープをしっかりと貼り、セロテープをはがして人工木自体のはがれがないかを確認。

①表面にセロテープをしっかりと貼る ②セロテープをはがし剥がれ具合を確認



新品やAのようにはがれがない場合…塗装手順/注意事項に従い塗装してください。
劣化などでB/Cのようにはがれがある場合…別売りの「ALLWOOD経年劣化した人工木にも塗装ができるプライマー」を下塗りにご使用ください。

【作業前準備】使用する道具

塗装用具(例) 用具は必要に応じてご用意ください

カップ・下げ缶・バケツ	塗料の移し替え用に使用します
布ヤスリ(#40)・紙ヤスリ(#240)・ワイヤーブラシ	目粗しに使用します
マスキングテープ・マスカ―	周辺が汚れないよう養生に使用します
ダスター刷毛・ウエス	清掃用に使用します
ローラー・刷毛類	塗装に使用します
皮すき	缶をあける時等に使用します
手袋・エプロン	手や衣類の汚れを防ぎます
攪拌棒	塗料を混ぜる時に使用します
	ローラーを使用する場合は塗皿やバケツが必要です



1.養生(マスキング)

塗料がつくと困る場所(金具や床面など)にはマスキングテープやマスカ―で養生します。必要に応じて養生シートなども敷きます。



2.目粗し(布ヤスリ#40使用)▶清掃※1

しっかりと目粗しをする事で塗料の密着性が高まります。
※目粗しの際はゴーグル等で目を保護してください。



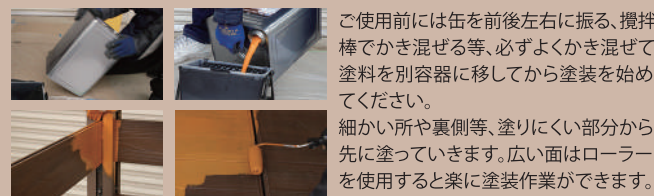
#40の布ヤスリを使用し、木目に沿って目粗しをします。溝の部分にもワイヤーブラシをあて、しっかりと目粗しします。全体にしっかりと目粗しを行った後は、ダスター刷毛や乾いた雑巾等で木粉や埃を十分に払い落としてください。

※1: 塗装面に油分や水分、汚れが残っていると、乾燥後に塗料が剥がれる可能性があります。充分にご注意ください。

3.塗装(1回目)▶乾燥

★材質により密着しにくい場合があります。必ず目粗し後、塗装前に目立たない場所で試し塗りを行い、密着しにくい場合は別売りのプライマーをご使用ください。

塗装は薄く均一に行ってください。
厚く塗装しますと、乾燥不良や密着不良の原因になります。



ご使用前には缶を前後左右に振る、攪拌棒でかき混ぜる等、必ずよくかき混ぜて塗料を別容器に移してから塗装を始めてください。
細かい所や裏側等、塗りにくい部分から先に塗っていきます。広い面はローラーを使用すると楽に塗装作業ができます。



1回目の塗装後から次の工程までに乾燥時間(目安)
気温23℃:1.5時間以上～ 冬期:3時間以上～

4.木目を整える(紙ヤスリ#240使用)



1回目の塗装が乾燥後、#240の紙ヤスリで木目に沿って軽くかけ、ザラついた塗装面を整えます。
※強くこすりすぎると塗膜はがれてしまいますのでご注意ください。

5.塗装(2回目)▶乾燥※2

1回目の塗装と同様に、塗装は薄く均一に行うのがきれいに仕上げるコツ!

塗装が完了したら速やかにマスキングを外し、使い終わった刷毛や用具はよく水洗いしてください。



※2: 塗装が乾燥する前に表面に水分が付着すると、乾燥後に塗料が剥がれる可能性があります。充分にご注意ください。

ALLWOODを使用した人工木デッキ塗装の完成!



～塗装前チェックではがれのある場合～

長期使用の劣化により人工木の表面が脆くなり剥がれがある場合は、しっかりと清掃した後、別売りの「ALLWOOD経年劣化した人工木にも塗装ができるプライマー」を塗布いただくことでALLWOODの塗装が可能となります。

※下塗り専用です。人工木に着色する塗料ではありません。

詳しい内容は裏面をご覧ください。

